

●未完了形・直説法の活用

まだ終わっていない(完了していない)行為・出来事を表す「未完了形」には、「直説法・接続法・要求法」という3つの法があります。これらは、語頭と語末が変化する類似の活用をもっています。まずは、直説法の活用変化を暗記し、接続法と要求法については直説法と異なる部分だけおぼえれば、効率がよいでしょう。

直説法は、表のように<3男単・3女単・2男単・1単・1複>の語末が -u となること、<2女単・双のすべて・3男複・2男複>の語末に ِن (-na, -ni) がつくことが特徴です。

	単数	双数	複数
3人称・男性	يـ --- ُ y---u	يـ --- َانِ y---āni	يـ --- ُونَ y---ūna
3人称・女性	تـ --- ُ t---u	تـ --- َانِ t---āni	يـ --- ِنَ y---na
2人称・男性	تـ --- ُ t---u	تـ --- َانِ t---āni	تـ --- ُونَ t---ūna
2人称・女性	تـ --- ِيْنَ t---īna		تـ --- ِنَ t---na
1人称	أـ --- ُ '---u		نـ --- ُ n---u

●強動詞第1形の未完了形と特徴母音

第1形の未完了形は、第2語根の母音が a, i, u のいずれかをとりまます。この母音は特徴母音と呼ばれ、辞書に記載されています。第1形の個々の動詞をおぼえる時は、この特徴母音も一緒におぼえるようにしましょう。

完了形	فَعَلَ	فَعِلَ	فَعُلَ
未完了形直説法	يَفْعَلُ , يَفْعِلُ , يَفْعُلُ	يَفْعَلُ , يَفْعِلُ	يَفْعُلُ
特徴母音	a, i, u のいずれか	大部分が a	すべて u
例	كَتَبَ u	شَرِبَ a	بَعُدَ u
	يَكْتُبُ 書く	يَشْرَبُ 飲む	يَبْعُدُ 遠くなる

●強動詞第1形の未完了形・直説法の活用

「書く」という動詞の未完了形・直説法の活用は以下のとおりです。暗記しましょう。

	単数	双数	複数
3人称・男性	يَكْتُبُ yaktubu	يَكْتُبَانِ yaktubāni	يَكْتُبُونَ yaktubūna
3人称・女性	تَكْتُبُ taktubu	تَكْتُبَانِ taktubāni	يَكْتُبْنَ yaktubna
2人称・男性	تَكْتُبُ taktubu	تَكْتُبَانِ taktubāni	تَكْتُبُونَ taktubūna
2人称・女性	تَكْتُبِينَ taktubīna		تَكْتُبْنَ taktubna
1人称	أَكْتُبُ 'aktubu		نَكْتُبُ naktubu

●未完了形・直説法の用法

未完了形直説法は、継続している行為や出来事、習慣、恒常的な事実などを表すのに使われます。語順および主語と動詞の一致については、完了形と同じです。語順がVSの場合、動詞は主語と人称・性が一致、SVの場合は人称・性・数の全てが一致します。

تَشْرَبُ الْقَهْوَةَ الْآنَ. 彼女は今コーヒーを飲んでいる。
 تَذْهَبُ الطَّالِبَاتُ إِلَى الْجَامِعَةِ كُلَّ يَوْمٍ. その女子学生たちは毎日大学へ行く。
 يَذْهَبْنَ الطَّالِبَاتُ إِلَى الْجَامِعَةِ كُلَّ يَوْمٍ. その女子学生たちは毎日大学へ行く。

動詞の前に لَا を付けると否定文になります。
 لَا تَشْرَبُ الْقَهْوَةَ. 彼女はコーヒーを飲まない。

動詞の前に سَوْفَ や سَوْفَ を付けると未来の出来事を表します。
 سَيَذْهَبُ إِلَى الْجَامِعَةِ غَدًا. 彼は明日大学へ行くでしょう。